

**波多野 豪**

**【査読論文】**

1. 波多野豪 (2013) CSA の現状と産消提携の停滞要因—スイスCSA(ACP:産消近接契約農業)の到達点と産消提携原則—, 『有機農業研究』5(1), pp.21-31.
2. 波多野豪 (2012) 第五章 有機農業新規就農女性の農業観・生活観—有機農業運動におけるジェンダーロールと消費者との関係性—, 池上甲一編『農村社会を組みかえる女性たち—ジェンダー関係の変革に向けて—』(年報村落社会研究48), 農文協, pp.181-207.

**【その他論文・論説】**

1. 波多野豪 (2014) (書評)有機農業の技術とは何か—土に学び実践者とともに(中島紀一著, 農文協), 『村落社会研究ジャーナル』20(2), pp.47-48.
2. 波多野豪 (2014) 有機農業の社会的波及効果, 『平成 25 年度農林水産省生産環境総合対策事業(有機農業参入支援データ作成事業)報告書』有機農業参入促進協議会, pp.46-48.
3. 波多野豪 (2014) (書評)農業を買い支える仕組み フェア・トレードと産消提携(辻村英之著, 太田出版), 『農林業問題研究』50(3), pp.235-236.
4. 波多野豪 (2011) 有機農業と環境保全型農業, 『農業と経済』編集委員会監修/小池恒男・新山陽子・秋津元輝編『キーワードで読みとく現代農業と食料・環境』昭和堂, 2011年5月, pp.114-115.

**【学会発表】**

1. 波多野豪 (2013) CSAはなぜ注目されるのか:産消提携と比較して, 第63回地域農林経済学会大会セッション1「食の生産と消費を結ぶ倫理の現在と未来:思想と実践から」報告, 岡山大学, 2013年10月20日
2. 波多野豪 (2013) 欧州におけるTEIKEIモデルの採用と産消提携の再評価—AMAP、ACP、GAS、NEKASAREA—, 第14回日本有機農業学会大会個別報告, 東北大学, 2013年12月8日
3. 波多野豪 (2012) 産消提携の現段階とCSAの展望, 2012年度日本有機農業学会社会系研究会基調報告, 立教大学, 2012年7月7日
4. 波多野豪 (2012) 産消提携の国外移転とTEIKEIモデルの再評価—スペインバスク地方におけるNekasarea活動を対象に—, 2012年度日本有機農業学会大会個別報告, 東京農工大学, 2012年12月9日
5. 波多野豪 (2012) 半商品経済視点からのCSA分析—産消提携とACP—, 2012年度日本農業経済学会特別セッション7「半商品経済を組み込んだ生消共生型の農林産物生産と流通」報告, 九州大学伊都キャンパス, 2012年3月30日
6. 波多野豪 (2011) 有機農業新規就農女性の農業観・生活観—有機農業運動におけるジェンダーロールと消費者との関係性—, 2011年度日本村落研究学会大会テーマセッション「農村社会を組みかえる—ジェンダー関係の視点から—」報告, 旧北里小学校体育館(熊本県阿蘇郡小国町), 2011年10月30日
7. 波多野豪 (2010) 直売所の新しい展望—欧米の産消提携から—, 平成22年度園芸学会近畿支部テーマセッション基調講演, 神戸大学, 2010年8月
8. 波多野豪 (2010) 産消提携とCSA(有機農産物流通における直売所の可能性), 日本有機農業学会テーマ研究会報告, 名古屋大学, 2010年10月
9. 波多野豪 (2010) 三重県における有機農業の展開過程, 日本有機農業学会第11回大会地元セッション座長解題, 三重大学, 2010年12月

【その他】

1. 波多野豪 (2012) これからの食と農を考える—消費者はどう関わったらいいのか—, 第48回市民くらしの講座講演, 津島市文化会館, 2012年9月23日
2. 波多野豪 (2012) スイスCSAとの比較から見る産消提携の展望, シンポジウム(科研公開報告会)「自然共生型農業への転換・移行に関する総合的研究」報告, 立教大学, 2012年3月4日
3. 波多野豪 (2011) 有機農業を支える堆肥・地域を支える農業としての有機農業, 第2回生ごみリサイクルフォーラム基調講演(主催:鳥羽市, NPO法人NPOとばりサイクルネットワーク), ホテル戸田家, 2011年2月.
4. 波多野豪 (2010) 循環型社会における「食」と「農」, エコキャンパス研究会基調講演(主催:奈良教育大学、菜の花・バイオマスプロジェクト会議奈良), 奈良教育大学, 2010年12月